



丹波地域ビジョン委員会情報誌

うりぼうニュース

第23号

平成26年3月発行

「うりぼうニュース」の「うりぼう」とは、「イノシシの子ども」のことで、丹波地域がイメージでき、これからの成長を願えるようにと命名しています。

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原688 TEL(0795)72-0500(内217) FAX(0795)72-3013



平成25年度 丹波の森夢会議開催

2月15日(土)、篠山市民センターにおいて「丹波の森夢会議」を開催しました。

第6期ビジョン委員の2年間の取組の発表を行い、活動を広く伝えるとともに、丹波地域で様々な分野で活動する団体が一堂に会し、活動をPRするなど、地域全体で丹波の夢を語り、夢の実現に向けヒントをつかみ、ネットワークを広げる機会として開催しました。

当日は雨模様にもかかわらず約200名の参加があり、オープニングの高校生の夢を叶えるバンド演奏のあと、「そばんち」店主佐藤勉さんや丹波農業グランプリ新人賞受賞ジェイ農園上野元久さんの夢の実現発表、また、ビジョン委員会の各グループをはじめ45団体のブース展示もあり、寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれました。

2年間の活動を振り返って

高齢者の生きがいきづくりグループ

高齢者が生き生きと地域の一員として活動できる健康づくりを目標に、誰でも簡単に取り組めるウォーキングをテーマに、講演会(2回)・実践研修(3回)・インターバル速歩ミニ体験(3ヶ月)を篠山市の「いきいき健康広場事業」と協働で2年間取り組んできました。

多くの方に参加していただき成果がありました。篠山市と一緒に取り組んだことから、篠山市に偏った活動になったという課題が残りました。



インターバル速歩の実践

グループたんばなう

地域の自立をテーマにスタートし、地域が自立するためには経済的な自立が必要と、新しいビジネスの創出を目指すことにしました。1年目は、あまり利用されることがなく見過ごされていた素材を掘り起しその価値を再確認する作業を繰り返し、渋柿を利用したつるし柿、柿酢など、さらに廃鶏を利用した親子丼などを試作しました。2年目はそれらの試作を繰り返し、品質の向上を検討したり、また、新しくマコモ茶、ゆず胡椒作りも試しました。結果としてまだ商品と呼べるレベルに達したものはありませんが、ビジネスへの一定の目途が見えてきたものもあり、今後も引き続き商品化を目指し活動を継続したいと思っています。



つるし柿作り

青少年健全育成グループ

不登校やひきこもりの当事者・家族を支えるネットワークを作るため、様々な活動を行ってきました。ひきこもり支援のNPO法人とひきこもり当事者の方との話し合いや、若者の居場所「TAMARIBA」(丹波市春日町)の開所式を行いました。

丹波市連合婦人会と共催で、講演会「ひきこもりって何?」を開催した際は、多数の参加者があり意見交換も活発に行われました。また、出張あそび村として、小学校の夏休み家庭教育学級の開催にも協力するなど様々な活動を行いました。不登校やひきこもりは社会認知が少ない事象ですが、その人数が非常に多い事は確かです。一步一步、地道に積み上げていく努力が大切で継続していかなければならないと実感しました。



若者の居場所「TAMARIBA」

グループさるが出た!!

地域ビジョンの将来像「安全・安心なたんば」を目指して2年間活動しました。防災、防犯と言っても範囲が広く、子供にも高齢者にもわかりやすく、ちょっと楽しい実践活動を目指すのは難しいものでした。少数精鋭メンバーに恵まれ、紙芝居と実験装置を使ったことで、目に見えてわかりやすい実践活動ができました。二つ目の紙芝居「ほめほめ詐欺にご用心」も完成し実演しました。今後も自分自身の日々の生活やこのビジョン委員会での実践活動等を通して「あらゆる災いによる被害を最小限にし、健康で楽しい人生をおくる」という夢に挑戦していきたいと思ひます。



紙芝居などを活用した啓発活動

都市との交流グループ

“都市住民の丹波地域への移住・定住を促進する”という活動方針については、地域住民との交流イベントやフォーラム等を通し、一定の成果を出すことができました。また、人口減少の続く丹波地域において“定住促進”を課題やテーマに活動するたくさんの個性豊かな人々やグループとの出会いの日々の連続で、個人的にもグループとしても充実した2年間でした。しかし、地域住民へのビジョン委員会の知名度はまだ低いのが実態で、これをどう高めていくかが今後の課題であると思ひます。



まちづくりを考えるフォーラム

男女共同参画グループ

早いもので、もう2年間の活動が終わるのか...という印象です。第5期からのメンバー4名に、新たに4名が加わり、8名で活動を行いました。活動内容は、5期の活動を引き継ぎながら、新たな紙芝居もプラスして男女共同参画を啓発していくというものでした。自治会での啓発活動、JAや市の職員研修、また、丹波市の人権フェスティバルにも参加し、有意義な活動ができたと思ひしております。このメンバーでの活動はこれで一旦終了しますが、7期のメンバーでのさらなる活動の充実につながる事を願ってやみません。



職員研修での啓発活動

遊楽農グループ

「農業の楽しさ・面白さを丹波で体験しよう」をテーマに、丹波の里塾で2年間、有機野菜の栽培、収穫、夏の収穫祭、冬の黒豆の味噌作り等沢山の講義、体験を実施しました。

里塾の参加者は、遠くは神戸、大阪の方で、丹波に永住したいとの希望者も多く、実際にIターンされている若い方もありました。田舎は落ち着く、と言われていています。丹波地域において、農業で自活しようとする若い人が増えて来ています。そういう人たちを応援して、丹波の良さをアピールしていきたいものです。



野菜の管理作業

丹波の森夢会議の主な内容

夢の実現発表

佐藤勉さんと上野元久さんによる夢の実現発表では、丹波で夢を叶えたきっかけや、さらに広がる夢について語っていただきました。

実践活動グループの活動報告

横田親企画部会長による、八つの実践グループの活動報告がありました。



各グループの特徴や主な活動内容が報告され、誰か任せではなく自分達でまちづくりを目指そうと、第七期の活動に向けての呼びかけがありました。

井戸知事コメント



井戸敏三兵庫県知事からはビジョン委員各グループの活動についての感想の後、「自分達の仲間だけでなく活動につなげていってほしい。地域はそこに住んでいる人達の夢をかな

えてくれる舞台であり、継続することが大切である。

これからの継続した活動に期待したい。」とのコメントがありました。

夢を語るワークショップ



参加者が八つのグループに分かれ、「私の夢」をテーマに語りあいました。「意見の集約をしない」というワークで、不安もあつ

たが、言いたいことが言えて気持ちよかった」との感想もあり、和やかな雰囲気の中で盛り上がりました。

・地元の人にも都会から来られた人から丹波の良さを学ぶ気持ちが大切。

・若い人の「自分達で社会をつくっていくような活動をしたい」という意見を聞いて感動した。

・生活の中の違和感に対してアクションを起こすことが夢である。

・生き生きとした大人と学生や高校生をつなぐパイプのような活動も必要ではないか。

などのグループ発表がありました。

グループ発表に対するコメント

【横山宜致専門委員】

自分の夢を語ることは重要です。夢を実現するために自分で努力するのは当然として「地域で実現する」場合もあります。地域で実現することをビジョン委員会で語り合うのだと思います。自分の言葉で本音を語る。そこに人を動かす力が生まれるのです。



当然として「地域で実現する」場合もあります。地域で実現することをビジョン委員会で語り合うのだと思います。自分の言葉で本音を語る。そこに人を動かす力が生まれるのです。

【小橋昭彦専門委員】

自分の夢を持っている人は他の人の夢にも寛容です。人の夢を受け入れる地域の寛容さや土壌といったものが、地域の未来をつくっていくのだと思います。色んな人の夢が花咲いていく、そんな丹波をみんなで作っていくべきでしょう。とのコメントがありました。



他の人の夢にも寛容です。人の夢を受け入れる地域の寛容さや土壌といったものが、地域の未来をつくっていくのだと思います。色んな人の夢が花咲いていく、そんな丹波をみんなで作っていくべきでしょう。とのコメントがありました。

最後に、梅谷順子県民局長から、「本日の夢会議は、ビジョン委員の皆さんに一生懸命考えていただき、実り多いものになりました。多くの団

体の皆さんの出展ブースには夢がいっぱいあっていただき、その夢をワークショップの中でぶつけあっていただきました。これが、私たちがめざしている「元氣な丹波」づくりのエネルギーの素、パワーそのものだと思います。」との言葉がありました。

退任のごあいさつ

私たち、第六期丹波地域ビジョン委員会は、二年間八つの実践グループで議論を重ね、アイデアを出し合いながら様々な活動を行いました。私たちが取組んだ活動を一人でも多くの方に知っていただき、同じ想いのもと、丹波地域の魅力づくりに取組んでいただける方がますます増えることを願っております。

委員長 足立 德行
副委員長 青木 芳信
谷水ゆかり

ご意見をお待ちしています。

〒六六九-1330 九
丹波市柏原町柏原六八八
兵庫県丹波県民局県民室内
丹波地域ビジョン委員会事務局
電話(〇七九五)七二一〇五〇〇
(内線二二七)
FAX(〇七九五)七二一〇一三